

Super Live '09

～ Viva!! Super Live 10th Anniversary ～

主催：Super Swing Jazz Orchestra

2009.7.26 (sun.)

ホテルアソシア豊橋 5F 「The Ballroom」

開場 PM 4:20 / 開演 PM 5:00

MC/FM豊橋パーソナリティー 前川 緑

ご挨拶

この度は、Super Live'09にご来場いただき、誠にありがとうございます。
おかげさまでホテルアソシア豊橋は今年で開業 12 周年を迎えることができました。
Super Live も当ホテルでの開催が今年で 7 回目を数えます。
これからも「やさしさが心に残るおもてなし」をテーマに、
地域の皆様に一層愛されるホテルを目指してまいります。
今後ともさらなるご愛顧をたまわりますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

ホテルアソシア豊橋
取締役総支配人 長谷川 正好
http://www.associa.com/tyh/

ご挨拶

本日は【Super Live ' 09 ～ Viva!! Super Live 10th Anniversary ～】にお越しいただきありがとうございます。
昨年はバンド結成 10 周年、そして今年がタイトルに示す通り 10 回目の『真夏の祭典スーパーライブ』を開催できることに、
この上ない喜びを感じております。これもジャズ愛好家の皆様方の応援あってのことと御礼申し上げます。
2000 年に祇園まつりの「花火」との競演で始まった関屋町「スタジオ 8」でのスーパーライブは、
「ホリディン豊橋（現在のホテル日航豊橋）」を経由して会場をここ「ホテルアソシア豊橋」に移しました。
そしてこの 10 年間でスーパーライブは動員数 10000 人に達しようかというマンモスジャズライブに成長しました。
この 10 年をゲストプレーヤーで振り返ってみると、1 回目が宮本やすし氏 (tp) と羽毛田耕士氏 (tp) のダブルトランペット、
2 回目以降は羽毛田耕士氏 (tp)、今里通夫氏 (tp)、田中哲也氏 (tp)、羽毛田氏 (tp) と名だたるトランペットプレーヤーが続ぎ、
6 回目には羽毛田氏 (tp) と椋野謙介氏 (tb) のコラボも実現しました。さらに 7 回目には羽毛田、椋野両氏に加えて、
ボーカルの大御所であり SSJO ボーカリスト柳瀬けいこの師匠である上野尊子氏が特別ゲストとして登場しました。
8 回目は SSJO パンマスの山崎や「どうでっしやる」メンバーの学生時代の仲間であった個性派ボーカリスト、
大野えり氏が登場したことは記憶に新しいところでしょう。そして昨年はパンマスたちが神と崇める大先輩の
向井滋春氏のトロンボーンに酔いしれました。では今回は…そうです、こちらも彼ら同志軽音の大先輩である
タイムファイブが満を持しての特別参加です。
今年も「スーパーライブ」のために関東・関西から参加してくださった皆さんに感謝し、
会場を提供していただけるホテルアソシア豊橋のスタッフの皆さんにもこの場を借りてお礼申し上げます。
豊橋の真夏の風物詩『スーパーライブ』は 10 年の歴史を超えてさらに進化します。
今宵も出演者一同、気持ちを込めていっぱい演奏します。最後までごゆっくりお楽しみください。

SSJO Maynard 山崎
ssjo@nifty.com http://www.ssjo.info

1st stage

Super Swing Jazz Orchestra

ビッグバンド を名乗っていますが、普通のビッグバンドとは違うところがいくつかあります。
まず構成人数が 27 名と非常に多く、サクセスが全部で 13 本と楽器バランスも一般的なビッグバンドと
比べて変則的です。もう 1 つは練習回数が極めて少ない (月 2 回) ことです。しかも年末年始は
お休み、ライブ後にも 1 ヶ月の夏休みをとります。平均すると月に 1.7 回にも満たない程です。
その大所帯で絶対練習量が不足しているバンドを上手にまとめて (おだてて?)、1 年間で
それなりに仕上げて (こまかして?) しまうパンマスの手腕はピカイチといえるでしょう。
そしてメンバー全員にソロを取らせるという彼の手法は、「SSJO は全員で楽しむバンドである」
ということを形に表わしたものだと言えます。また、サクセスセッションが 3 曲目の「Sax No End」で
13 人全員でのソリを披露しますが、他のバンドでは絶対に見られないダイナミックな演奏と
なっています。これもバンドの特性を生かした SSJO 独特の演出であり、必ずや皆さんの心を
揺さぶることと確信しています。また、私たち「Super Swing Jazz Orchestra」は本音に強い
バンドであると思っています。それはミスを恐れず「本番も最後の練習」という気持ちで臨
んでいるからだと思えます。ですから今夜も「前回の練習よりもう少しでも上手に演奏できるように」
楽しみながら演奏します。今宵もジャズを演奏する我々の楽しさや喜びが、聴いていただく
皆さんの心に届いて少しでも幸せな気分になっていただけたらうれしいことです。私たちの
演奏手法は今年も変わりません。「速い曲は勢い (・・・) で、スローな曲はそれなり (・・・)」に
お届けします。

演奏曲目 1 : Maynard Ferguson Medley
[Star Trek, Chameleon, Gospel John,
Gonna Fly Now, Bird Land , Hey Jude, Hollywood]
2 : Over The Rainbow
3 : Sax No End
4 : It Don't Mean a Thing
5 : Love Letter
6 : Shiny Stocking
7 : Magic Flea
8 : M.O.T. (SSJO エンディングテーマ)

2nd stage

タイムファイブ with どうでっしやるバンド

70 年代、若者には熱い時代であった。ファッション、遊び、スポーツ、車、そして音楽!!!
次々と「新しいスタイル」が生まれ続けた。そんな時代に JAZZ に没頭した仲間がいた。
毎年豊橋の夏に集合「即」当時に戻れる。馬鹿である。好きである。変でもある。
今年は大先輩の「タイムファイブ」の皆様と。嬉しいね、楽しいね、愉快だね、ガンバろう!

演奏曲目 1 : Sudden Samba
2 : Almost Like Being In Love
3 : Over The Rainbow
4 : Just In Time
5 : Nothing's Gonna Change My Love For You
6 : CM ソングコーナー
7 : コーラス教室 M シャボン玉
8 : ひょっこりひょうたん島
9 : Danny Boy
10 : Chicago
11 : Route 66

メンバー 亀田 邦宏 (p) 神田 芳郎 (b) 水島 英幸 (ds)
宮西てるえ (f) 和田 敬三 (as)

Guest Player タイムファイブ

男性 5 人 (田井康夫、野口顕雄、勸徳河原貞昭、吉村晴哉、杉江浩平) のコーラスグループです。
同志社大学軽音楽部のフォア・フレッシュメン (アメリカのコーラスグループ) が好きな先輩
後輩同志で結成されました。2008 年には結成 40 周年を迎えました。ナント! メンバーは
一度もかわったことがありません。大学対抗バンド合戦に優勝後上京し、レコード制作や
テレビ出演など本格的にプロとしての活動を開始しました。以後楽器を演奏しながらコーラスを
するという独自のスタイルと、テンションを駆使した高度なハーモニーをグループのカラーと
しています。コンサート、ライブ活動及びテレビ、ラジオへの出演をする傍ら「CM ソング」を
これまで 1000 曲以上も唄ってきた事はあまり知られていませんが、これは大変な偉業なのです。
1986 年 アメリカ『モンタレージャズフェスティバル』に、日本人ヴォーカリストとしては
初めての出演。
1988 年 ジャズヴォーカル賞、大賞受賞。 「NHK 紅白歌合戦」出演。
1992 年 NHK-TV 「音楽は恋人」にレギュラー出演。
1993 年 結成 25 周年記念タイムファイブミュージカル『ラジオの時代』公演。
同タイトル、公演全曲入りアルバム『ラジオの時代』発表。
1994 年 グレンミラーの生誕地アメリカ・アイオワ州クラリントンで開催された
「グレンミラーフェスティバル」に出演。
1999 年 結成 30 周年を記念し、全曲日本語のア・カベラアルバム「Timeless」発表。
2000 年 平成 11 年度 (第 50 回) 文化庁芸術選奨、文部大臣賞受賞。
2001 年 通算 21 枚目のアルバム「SUPER HARMONY」を発表。
2003 年 スイングジャーナル誌人気投票コーラス部門、21 年連続・通算 24 回目の第一位を獲得。
2004 年 結成 35 周年記念アルバム「ハワイアン・パラダイス」発表。
2008 年 10 月 結成 40 周年記念アルバム「VOICES in JAZZ」TIME FIVE History 発表。
各地記念コンサートツアー開催。

3rd stage

Mondaynight Jazz Orchestra

豊橋の皆さん、今晚は、東京から参りました Mondaynight Jazz Orchestra (MJO) です。
昨年に引き続きスーパーライブに出させて頂きます。よろしくお願ひします。
私たち MJO は 1974 年に結成してから今年で 36 年目となる社会人バンドです。名前の通り、
毎週月曜日の夜に高円寺にあるパンマス別宅を改装した専用スタジオで練習しています。
25 歳から 59 歳までと幅広い年代のメンバー構成ですが、創立当初からのメンバーも多く
平均年齢も平均血圧? も高めです。40 分ほどのステージですが、どこか懐かしいけれど
どこか新鮮なビッグバンドジャズを私たちと一緒に楽しんでいただければ幸いです。

演奏曲目 1 : I'm Shoutin' Again
2 : Blue and Sentimental
3 : Blues for Stephanie
4 : Avalon (vo)
5 : Come Rain or Come Shine (vo)
6 : Mack The Knife (vo)
7 : Sax No End
8 : April in Paris

メンバー BM: 小林正家 (Cond. Perc.) 高橋守之 (tp)
藤原寛 (tp) 羽鳥隆弘 (tp) 照木信久 (tp)
野口忠志 (tb) 久保田燕子 (tb) 鈴木悠 (tb)
古屋匡彦 (btb) 鈴木成章 (as) 牧松美 (as)
井関弘 (ts) 佐々木信 (ts) 高橋仁 (bs) 山本英晶 (d)
井上英果 (p) 青木文尚 (g) 長島輝雄 (b) 山本初枝 (vo)

5th stage

One Night All Stars

さあ、記念すべき「10th Super Live」のフィナーレです。出演者全員がもう一度ステージに
上がります。もちろんタイムファイブも再び登場します。まさに One Night All Stars のカーテン
コールといえるでしょう。そして、最終ステージのオープニング曲は亀田邦宏のピアノソロで
じまる「Take The A-Train」。Time Five の素晴らしいコーラスと共にお楽しみください。
続いては、「I've Got You Under My Skin」を「Mondaynight&SSJO の 2 人の歌姫」の競演で。
そして最後は、皆さん良くご存知の「On The Sunny Side of The Street」をタイムファイブ
アレンジでお送りします。もちろんスーパーライブ恒例の、いつ終わるとも知れないアド・リブの
連鎖もお楽しみください。中盤からは「タイムファイブ」と「Mondaynight&SSJO の 2 人の
テナーサクセス」との激しいバトル、そして華やかにフィナーレへと向かいます。演奏後、
皆さんはきっと「花火大会の最終演目スターマインが終わったとき」のような余韻に浸って
いただけると思います。最後までご観覧とご静聴ありがとうございます。
お気を付けてお帰ります。

演奏曲目 1 : Take The "A" Train
2 : I've Got You Under My Skin
3 : On The Sunny Side of The Street

4th stage

Zaboon

豊橋の皆さん、こんにちは。Zaboon (ザブーン) です。今年も無事東京からやって参りました。
Super Live 10 年連続 10 回目の出場となります。昔から 10 年一言と言いますが、10 年なんて
本当にあっという間ですね。今では豊橋の皆様がこのライブでお会い出来るのが、私たち
バンドにとっての最高の楽しみであることはあえて言うまでもありません。バンド結成も丁度
10 年となる今年、年を重ねても皆様様の期待を裏切らない激しいナンバーを中心に、精一杯の
ステージに望みます。皆様からも一杯一杯の応援の程、どうぞよろしくお願ひします!

演奏予定曲目 ロッキーのテーマ、黒い炎 他

メンバー <Trumpet Section>
山下 " マグナム " 清貴 : Band Master、Trumpet &Vocal
滝沢 " ういりー " 幸秀 : MF-Style Solo Trumpet
益田 "200Ghz" 秀隆 : High Note-Style Lead Trumpet
幕田 " お願ひ " 一郎 : 2nd Trumpet
本橋 "MOHA" 裕幸 : 3rd Trumpet
田代 "Yasu-P" 靖弘 : 4th Trumpet
深谷 "MF" 政巳 : Tenor Trombone
須永 "HITMAN" 潤 : Bass Trombone
<Rhythm Section>
藤井 Ryu 竜太郎 : Electric Bass
兼永 "グレートタイガー" 陽一郎 : Electric Guitar
吉澤 "てーさん" 照代 : Piano
小山 "Yummy" 聡 : Drums &Percussion